



日曜大衆 五月十五日

### 結局は全部の剥取か

#### 傾城隧道最後の處置

此工費少なくも八十萬圓 夫れでも換線よりは容易

鐵道常磐線の金喰ひトンネル定することになつてゐる其の湯本、綴間に於ける傾城の調査研究の爲め過般本省山隧道は炭礦の掘鑿による並に本局及び保線事務所の地盤の動搖で同線開通以來技術關係者十數名の現場視の修理費實に數百萬圓に達する

#### 安定な

し得ない爲 裂面から煤煙の洩れる事は

#### 行はれ

たもので 城縣生れ無職北原源太郎

#### 岩磐で

ある上に 岩磐で ある上に隣

#### 目的は

上部の重量 不斷の 動搖鎮下を

#### 検測に

對照する成 七百米 の剥取りに

鐵道常磐線の金喰ひトンネル定することになつてゐる其の湯本、綴間に於ける傾城の調査研究の爲め過般本省山隧道は炭礦の掘鑿による並に本局及び保線事務所の地盤の動搖で同線開通以來技術關係者十數名の現場視の修理費實に數百萬圓に達する

〇〇列車 同日平赤井間をなし平器に検査さる 六三、六四列車 十七日 平水戸間二五七、八五五 及び八五一列車

#### 養蚕の 講演會

高久と永戸で 石城郡高久村に於ては来る

#### 後で仕拂ふは 嘘の皮

無錢飲食で 告訴される

#### 言葉巧みに 無錢遊興

飯野村の男 江名町で

#### 魚行商の 詰い折カン

十七少年を カギでなぐる

#### 世の情けで 歸郷する男

中町人相談所に昨十四日 午後五時頃一人の見すばら

#### 天長節に マラソン

高坂坑と長橋 町の五哩間に

#### 悪魔の宿る所に非ず 幸運はわざと逆捲ぢ

天神地祇に默禱して追拂へ 悪は却つて差出の主に還る

#### 馬鹿氣

たる世上の 觀櫻會を兼ね

#### 延長内閣の 祝賀會

石城民政黨が 觀櫻會を兼ね

#### 俳句

柳櫻をこ 交せて

#### 泥酔暴行

半町扇屋方で 石城郡亦井村の上平一三士

#### 花に浮かれて

工石山元一(三)と同郡磐崎 村の小野田炭礦坑夫小林

石城郡内郷村の金坂魚商箱 崎興一(三)は去る十三日午 後八時頃半町の五丁目乗

#### 悪い花見で 檢舉さる

三人組の賭博 石城郡内郷村の宮字金坂居

#### 悪魔の宿る所に非ず 幸運はわざと逆捲ぢ

天神地祇に默禱して追拂へ 悪は却つて差出の主に還る

#### 馬鹿氣

たる世上の 觀櫻會を兼ね

#### 延長内閣の 祝賀會

石城民政黨が 觀櫻會を兼ね

#### 俳句

柳櫻をこ 交せて

#### 泥酔暴行

半町扇屋方で 石城郡亦井村の上平一三士

#### 花に浮かれて

工石山元一(三)と同郡磐崎 村の小野田炭礦坑夫小林

#### 世の情けで 歸郷する男

中町人相談所に昨十四日 午後五時頃一人の見すばら

#### 天長節に マラソン

高坂坑と長橋 町の五哩間に

#### 悪魔の宿る所に非ず 幸運はわざと逆捲ぢ

天神地祇に默禱して追拂へ 悪は却つて差出の主に還る

#### 馬鹿氣

たる世上の 觀櫻會を兼ね

#### 延長内閣の 祝賀會

石城民政黨が 觀櫻會を兼ね

石城郡内郷村の宮字金坂居 住浪花節語り東京市京橋區 月雨町生れ佐藤松太郎(三)

#### 悪い花見で 檢舉さる

三人組の賭博 石城郡内郷村の宮字金坂居

#### 悪魔の宿る所に非ず 幸運はわざと逆捲ぢ

天神地祇に默禱して追拂へ 悪は却つて差出の主に還る

#### 馬鹿氣

たる世上の 觀櫻會を兼ね

#### 延長内閣の 祝賀會

石城民政黨が 觀櫻會を兼ね

#### 俳句

柳櫻をこ 交せて

#### 泥酔暴行

半町扇屋方で 石城郡亦井村の上平一三士

#### 花に浮かれて

工石山元一(三)と同郡磐崎 村の小野田炭礦坑夫小林

#### 世の情けで 歸郷する男

中町人相談所に昨十四日 午後五時頃一人の見すばら

#### 天長節に マラソン

高坂坑と長橋 町の五哩間に

#### 悪魔の宿る所に非ず 幸運はわざと逆捲ぢ

天神地祇に默禱して追拂へ 悪は却つて差出の主に還る

#### 馬鹿氣

たる世上の 觀櫻會を兼ね

#### 延長内閣の 祝賀會

石城民政黨が 觀櫻會を兼ね

石城郡内郷村の宮字金坂居 住浪花節語り東京市京橋區 月雨町生れ佐藤松太郎(三)

#### 悪い花見で 檢舉さる

三人組の賭博 石城郡内郷村の宮字金坂居

#### 悪魔の宿る所に非ず 幸運はわざと逆捲ぢ

天神地祇に默禱して追拂へ 悪は却つて差出の主に還る

#### 馬鹿氣

たる世上の 觀櫻會を兼ね

#### 延長内閣の 祝賀會

石城民政黨が 觀櫻會を兼ね

#### 俳句

柳櫻をこ 交せて

#### 泥酔暴行

半町扇屋方で 石城郡亦井村の上平一三士

#### 花に浮かれて

工石山元一(三)と同郡磐崎 村の小野田炭礦坑夫小林

#### 世の情けで 歸郷する男

中町人相談所に昨十四日 午後五時頃一人の見すばら

#### 天長節に マラソン

高坂坑と長橋 町の五哩間に

#### 悪魔の宿る所に非ず 幸運はわざと逆捲ぢ

天神地祇に默禱して追拂へ 悪は却つて差出の主に還る

#### 馬鹿氣

たる世上の 觀櫻會を兼ね

#### 延長内閣の 祝賀會

石城民政黨が 觀櫻會を兼ね

石城郡内郷村の宮字金坂居 住浪花節語り東京市京橋區 月雨町生れ佐藤松太郎(三)

#### 悪い花見で 檢舉さる

三人組の賭博 石城郡内郷村の宮字金坂居

#### 悪魔の宿る所に非ず 幸運はわざと逆捲ぢ

天神地祇に默禱して追拂へ 悪は却つて差出の主に還る

#### 馬鹿氣

たる世上の 觀櫻會を兼ね

#### 延長内閣の 祝賀會

石城民政黨が 觀櫻會を兼ね

#### 俳句

柳櫻をこ 交せて

#### 泥酔暴行

半町扇屋方で 石城郡亦井村の上平一三士

#### 花に浮かれて

工石山元一(三)と同郡磐崎 村の小野田炭礦坑夫小林

#### 世の情けで 歸郷する男

中町人相談所に昨十四日 午後五時頃一人の見すばら

#### 天長節に マラソン

高坂坑と長橋 町の五哩間に

#### 悪魔の宿る所に非ず 幸運はわざと逆捲ぢ

天神地祇に默禱して追拂へ 悪は却つて差出の主に還る

#### 馬鹿氣

たる世上の 觀櫻會を兼ね

#### 延長内閣の 祝賀會

石城民政黨が 觀櫻會を兼ね



西瓜栽培 (六)

本誌農試 矢ヶ崎技手  
石塚分場 肥の種  
△基肥 堆肥三〇〇貫、米糠一〇貫、硫酸石灰五貫、木灰一貫、第一回追肥 米糠五貫、人糞尿一〇〇貫、第二回追肥 堆肥五貫、人糞尿一〇〇貫、第三回追肥 人糞尿一〇〇貫  
以上の肥料の配合に當りて注意すべきことは、鯨糞や人糞尿のかき臭氣の強いものを直前に施すのは止める必要がある。夫れは瓜守その他の害虫が臭氣のために、つて非常な害を招くからである。故に豫め充分に腐熟せしめて置いて使用するのがよい。出泰ならば一月又は二月頃に使用量を配合堆積して置くのが良ろしい。夫れから西瓜の甘味を増さうと、めに砂糖液の注射とか色澤を良好にしやうとしての食用紅の注射とか云ふことの實験を往々に受けてゐるが、之れは行つて出泰のことは、はないが斯る方法を行はんとするが如きは西瓜栽培の本法であつて到底西瓜本来の特有の色や甘味の出やう等のものではなく之れが爲めに本質の風味を害し却つて品質を損するのみであるから好ましくない。

山澤荷入物春  
店服天

ガソリン  
モビール油  
日本石油  
株式会社  
特約販賣  
屋間油  
店商内閣  
〇四六六

そばから  
マルマン商店  
電話四八九番

お花見仕出し  
お花見に御格好な  
折詰お肴を勉強いたしませう  
お一人前 四十錢  
特 同上 三十錢  
並 同上 二十錢  
江戸前のお花見さんをお雇入れ  
ました  
平新川町 新藤屋本店  
電話四五九

高島屋の洋服  
模範  
裁縫  
春着の  
御用意は  
高島屋へ  
新柄着荷  
貸切は？  
親しみあるサービスを  
以つて知られたる!!  
尼子タクシーへ  
電六四〇番  
主任 澤 正 路

高島屋  
本舗 責任製劑 水野薬局  
平町一丁目  
電話 八八七六

酒銘 たひら正宗  
二合樽詰 二十錢  
四合 同 四十錢  
一升 同 八十錢  
ヤマフル醸造元  
鹽屋營業部  
電話 一〇番

入院應需  
明雲堂眼科醫院  
平驛前(電話六六九番)

眞寫  
花! 爛漫たる花  
この氣分を其まゝ、永久に  
晴れやかなる御姿を  
場所により氣分はかはる  
公園出張を寫場と同値  
花の公園 三光館寫場

サロニ  
平田町  
電話 三五三  
婦人洋傘  
通學用雨マント  
雨 洋 傘  
取揃ました

春帽とワイシャツ  
平五丁目電話三五三番